

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポート・くすのき (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年12月15日		R8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 26名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	R7年12月15日		R7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・リハビリ専門職(PT・OT・ST)による、専門的な個別活動を行っている。	・一人ひとりの特性に合わせた活動内容を提供している。個別活動なのでそのお子さんの成長に合わせた活動を行うようにしている。	・基本的にプログラムの立案は、担当職員が行っている為、他の職員もプログラムの立案に参加出来るように、話し合う機会を増やしていく。
2	・毎回、保護者と話す機会を設け、活動の様子や現在の発達段階、保育所や家庭の様子等を共有するようにしている。	・家庭での困りごとに対する対応方法、家庭で取り組めることなどを提案している。	・困りごとに対する対応方法を伝えるだけでなく、実際に活動を見学してもらったり、一緒に参加してもらう機会を増やす。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子ども同士のかかわりが少ない。	・個別活動のため一枠に最大2人までしか利用がなく、集団での様子を把握しづらい。 ・同じ枠に利用している子どもたちの年齢はバラバラなため、自由遊びの時間も別々の遊びをすることが多い。	・時々、個別活動後に保育士が主体となり季節の活動(製作など)を行っているが、その際は子ども同士が関わる時間があるため、一緒に参加できる活動を増やしていく。
2	・生活習慣の定着を図りづらい。	・一回の利用が1時間の為、生活の流れに沿った活動を行えていない。	・来所後の手洗いや排泄、更衣など短い時間の中でできる事を取り組んでもらうようにしているが、今後も継続していく。
3	・保護者同士の関わりが少ない。	・保護者が参加する行事が殆どない。年に1回、年中、年長児の保護者を対象に就学前の勉強会を開いているが、基本的に保護者同士の関わりは少ない。	・毎年、保護者の方から保護者同士の集まりなどの必要性は感じていないとのご意見を頂いているが、必要性を感じている方や、ご要望があった際などは、保護者同士が関わる機会を検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					回収数	
キッズサポート・くすのき (児童発達支援)		R8年 2月 25日					26名	21名
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3			・走り回ったりするには狭く感じられるが、限られたスペースで活動できるように考えてくださっていると思います。	・限られたスペースですが、活動内容等により、利用時間の調整、使用する部屋や遊具の配置等を工夫しながら、安全に配慮し、活動に取り組んでいきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21					・定員10名/1日に対しては、2人以上の保育士又は児童支援員の配置が必要で、満たしています。くすのきの職員に来てもらい、支援を行うときもあります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1			・勉強部屋と体を動かす部屋と分かれていて分かりやすいと思う。	・活動内容やお子様の状況に合わせて、部屋を分けて使い分けています。部屋の入り口に表示を貼り、お子様が自分で動けるようにしています。 事業所は1Fにあり、室内は概ね平坦です。洗面所手前には15cm程の段差があり、トイレは洋式です。賃貸で改修工事は難しい為、必要に応じて踏み台等の利用、スタッフが付き添って対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21					・毎朝、清掃を行い、その後は利用者が入れ替わるごとに室内清掃、おもちゃの消毒を行っています。換気や消毒を徹底し、加湿器や空気清浄機も設置しております。今後も継続し、安心して利用していただけるように努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			・毎回話を聞いていただき、その内容に応じて支援してくださっている。	・活動の様子や保護者との面談・相談内容、関連機関との情報共有等からニーズや課題を把握し、お子様に合わせて専門職が対応させて頂いています。 ・お子様に応じて、環境調整や視覚支援等も検討していきたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					・R7.9月支援プログラムの公表をしましたので、ご確認ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				・できるようになった事や気になる事を毎回気づいてくださり、よく見てくださっている。	・活動の様子や保護者との面談・相談内容、関連機関との情報共有等からニーズや課題を把握し、支援計画を作成させて頂いております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					・支援計画は、利用開始時、もしくは年度初めに前期計画、年度半ばに後期計画を作成しています。 お子様に合わせて、支援に必要な項目を選択し、支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					・今後も支援計画に合わせて、お子様の興味や関心等にも配慮しながら、支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3	1	1	・その時の子どもの気分や興味があることに合わせて考えてくださっています。	・季節感も取り入れながら、お子様の興味・関心、課題等に応じて、活動プログラムを提供しています。今後も楽しく利用していただけるよう努めていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	4	3	・芋ほり体験に参加できたことは、よい経験になったなと思いました。 ・毎回、趣向を凝らして対応してくださっている。	・R7.9に地域の保育園との交流事業として、未就学の希望されたお子様と一緒に芋ほりに行きました。今後とも年に1~2回程度、交流事業を企画する予定ですので、ご参加ください。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					・契約時、内容変更時にご説明させて頂いております。また、常時玄関に掲示しております。今後も、丁寧な説明を心がけていきます。ご不明な点等ありましたら、遠慮なくお尋ねください	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は、前期計画、後期計画を作成し、支援計画を示しながら説明させて頂き、同意を頂いております。</li> <li>・今後も、支援内容の説明に関して、丁寧な説明が行き届くよう努めてまいります。ご不明な点等ありましては、遠慮なくお尋ねください。</li> </ul>
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	1	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラムとは、育児に不安がある、仲間関係を築くことに困っている保護者様等を対象に、効果的に支援できるように設定されたグループ・プログラムです。保護者様がお子様の行動を観察して特徴を理解したり、特性を踏まえた褒め方や叱り方を学ぶことにより、お子様が適切な行動を獲得することを目標として行われます。</li> <li>・当事業所では家族支援プログラムは行っておりませんが、適時、保護者様からのご相談には応じています。保護者様の困りごとへの対処法等と一緒に考え、お子様の成長を促していけるよう支援します。</li> <li>・ご希望があれば、他機関での家族支援プログラムの実施情報等をご案内します。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動後のフィードバックで、子どもの様子を伝えてくださるのでありがたいです。</li> <li>・たった1時間の中で、よく見てくださっている。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回のフィードバック後に「何かありますか?」と話を聞いてくださるので嬉しいです。</li> <li>・質問をしたら、すぐに答えを出してくださってすごく助かっている。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、活動後に保護者とお話する時間を設けており、お子様の状況を伝え合い、共通理解できるように努めていきます。</li> </ul>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	9	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士の交流会等があると情報共有等しやすいかなと思います。</li> <li>・保護者会等は、特に求めていません。</li> <li>・今のところ、父母の会はありません。保護者会も開催しておりません。個別療育であり、保護者同士が顔を合わせる機会も少ない状況です。今後、保護者同士の連携を支援する方法も検討していきます。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1			3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突発時に相談・苦情の窓口の説明をしています。</li> <li>・玄関待合に「ご意見箱」を設置しています。</li> <li>・相談・苦情等を受けた場合は、職員で話し合い迅速に対応するように努めています。</li> </ul>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動終了後に個別に保護者様と活動の様子等をお話させて頂いております。</li> </ul>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	5			7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の療育であり、今のところ、会報やホームページ等での情報発信等は行っておりません。</li> <li>・毎回、個別にお子様の活動の様子などはお話しさせて頂いております。</li> <li>・自己評価の結果は玄関待合に専用ファイルを設置、ホームページ上で公表しております。</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の漏洩防止の為、事業所外への持ち出し禁止、ネットのセキュリティ対策等は行っています。</li> <li>・フィードバック等、個室での対応を希望される方はお申し出ください。</li> </ul>
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2			5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルは作成しており、一部は契約時に説明させて頂き、玄関待合に専用ファイルを設置、一部は掲示しておりますので、定期的にご確認下さい。</li> <li>・緊急時等は、LINEを通じてご連絡させて頂きますので、ご確認下さい。</li> <li>・発生を想定した訓練も状況に応じて行っています。</li> </ul>

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	4		10	・避難場所等の掲示はされているが、実際に訓練が行われているかは分からないです。	・年2回程度、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者対応等）を行っています。 利用者様に参加をお願いすることもあります。利用日が避難訓練と重なった場合、事前にお知らせをしますので、ご協力をお願いします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	18			3		・安全を確保するための計画は、玄関待合に専用ファイルを設置、一部は掲示しておりますので、定期的にご確認ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	18	1		2		・事故等が発生した場合は、速やかに保護者に報告しております。 何か気になることがありましたら、遠慮なくお声掛けください。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	2				・今後ともお子様が安心して通所できるよう支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			・いつも楽しく活動できているみたいで、あっという間に時間が過ぎて遊び足りない様子で、帰るのを渋る時が多々あるほどです。 ・とても楽しく通っています。 ・最近になって、ようやく入り口で固まることなく楽しみだというようになりました。 ・毎週、会えるのを楽しみにしており、行く15分前には「早くいかないの？」と聞いてくるほど、早く行きたいみたい。	・今後とも楽しく活動しながら、お子様の成長を促していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			・子どもも楽しく通っており、親も相談しやすくありがたい。	・すべての方に満足いただけるように工夫を重ねます。 ・今後ともお気づきの点がありましたら、ご遠慮なくお声かけください。保護者と共により良い支援ができるよう努めていきます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		キッズサポート・くすのき (児童発達支援)				公表日	R8年2月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別の活動のみで、同時間帯に最大2人までの利用スケジュールとしている。 ・保護者の皆様にも適切な時間に来所・降所いただけるようご協力を頂く。	・出入口が狭く、来所・降所の時間帯では密集する場面がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・定員10名/日の利用者に対しては、十分な人員配置であるが、急な休みが入った場合等は不足していると感じることがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・お子様に合わせて付き添い、洋式トイレでは補助便座や踏み台を使用する等している。	・賃貸で改修工事は難しいため、バリアフリー化はできていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃を行い、その後は利用者が入れ替わるごとに室内清掃、おもちゃの消毒を行っている。 ・換気、消毒を徹底し、加湿器や空気清浄機を設置している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・業務に関して、気づきや課題があれば職員間で共有し、話し合い、業務内容を適時変更、改善している。	・個別の対応である為、担当者間では振り返るが、全体での子どもについての会議は少ない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの頂いたご意見を適時、職員間で共有し、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・保護者様に送迎や見学をして頂いており、同法人の職員等が訪れる機会も多くあるため、様々な方の目が届きやすく、ご意見を頂きやすい環境にあると思われる。	・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職場内の研修、外部の研修にも積極的に参加し情報共有している。年間計画を作成し、オンライン研修を受講している。 ・個人では研修受講している。	・法人内の研修で療育向けの研修も入れて欲しい。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・法人ホームページに公表し、玄関入り口にも掲示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者にもアセスメントを依頼し、子供や保護者のニーズや課題を確認、スタッフ間で検討した上で、児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			・児童発達支援計画は、担当のお子様の内容は理解しているが、担当以外のお子様の状況はあまり把握できていないことがある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・児童発達支援計画に沿った支援は、担当のお子様の内容は理解しているが、担当以外のお子様の状況はあまり把握できていないことがある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・必要に応じて標準化された検査等を行っている。 ・利用児の年齢や生活状況等に合わせて、ツールを選び利用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・適時、情報交換、担当者以外のスタッフの介入も行い、色々な角度から活動内容を検討・立案している。	・基本的に各担当がプログラムを立てて活動を行う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			・その都度変更している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・基本的に専門職と1対1の個別活動だが、季節の制作や自由遊びの際は他のお子様と関わる機会がある。集団が必要であれば他事業所を紹介している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		・スケジュールの確認等は行っている。個別での療育であり、活動内容についての打ち合わせはあまりしていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・お子様の状況をこまめに共有し記録などいつでも見れる状況にしている。 ・個別での療育の為、担当者が支援内容を計画し、実施する。利用児の様子、支援の工夫や課題等、情報を共有し、意見交換を行っている。	・振り返りは、必要に応じて実施しているが、必ず行っていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援記録は、全職員がいつでも見れるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・必要時は、書面や電話連絡、訪問して、今後も連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の希望があれば、併行通園先へ訪問し、お子様の様子を見学したり、担任の先生方と情報共有する等している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者の希望があれば、移行シートを活用して、小学校等との情報共有を行っている。必要時は学校訪問等も行う。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・連絡会への参加を行い、連携を図っている。	・今後も、積極的に児童発達支援センターとの連携を図っていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・今年度は、地域の保育園との交流事業として芋ほりを行った。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・活動終了後に、毎回フィードバックを行いその日の様子や家庭での様子を伺っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・適時、保護者様からのご相談には応じている。希望があれば、他機関での家族支援プログラムの実施情報等を案内している。	・家族支援プログラムは実施していない。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、内容変更時にご説明し、常時玄関に掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・毎回利用時に保護者と話す機会を設けている。時間が足りない際は面談の機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・就学に関する学習会を法人で開催している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談等は、直ぐに職員間で共有し、適切に対応できるように話し合っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・個別の活動、保護者送迎の為活動の状況や連絡は毎回保護者へ直接行っている。必要時にはラインにて、発信・連絡を行っている。	・通信の発行、HPやSNS等の発信はしていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類等を破棄する際は、シュレッダーを使用している。 ・個人情報の漏洩防止の為、事業所外への持ち出し禁止、ネットのセキュリティー対策等は行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・個別の療育であり、事業所の行事や地域住民を招待する機会はない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルは策定し、玄関待合にマニュアルの掲示、ファイルを設置する等し、年2回程度、避難訓練（火災、風水害、地震、不審者対応等）を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・業務継続計画は策定し、年1回程度、訓練を行い、適時見直しも行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用開始時、適時確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			・給食等の提供はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・年2回程度、避難訓練（火災・地震・水害、不審者対応等）を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・玄関待合にマニュアルの掲示、ファイルを設置する等し、周知に努めている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・その都度、スタッフ全員で情報共有して、対策を検討し、記録を残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年に1回、虐待防止の研修に参加している。法人内の各事業所内で話し合う時間を設けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・今のところ、対象者はいない。	